2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月13日

上場会社名　株式会社ＪＭＣ　　上場取引所　東
コード番号　5704　ＵＲＬ　https://www.jmc-rp.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長兼ＣＥＯ　（氏名）渡邊　大知
問合せ先責任者　（役職名）取締役兼ＣＦＯ　（氏名）篠崎　史郎　ＴＥＬ　045-477-5751

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,889	△21.1	17	94.6	7	181.3	△20	－
2025年12月期第３四半期	2,394	11.5	8	46.5	2	△75.4	△4	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△3.71	－
2025年12月期第３四半期	△0.81	－

（注）前第３四半期累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。当第３四半期累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、１株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第３四半期	2,692	1,631	60.6	293.13
2025年12月期	2,863	1,647	57.5	296.64

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,631百万円　2025年12月期　1,647百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,020	△6.3	205	97.9	199	96.6	132	－	23.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	5,598,500株	2025年12月期	5,598,500株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	34,151株	2025年12月期	44,800株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	5,559,841株	2025年12月期３Ｑ	5,546,256株

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 4
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期貸借対照表に関する注記） …… 9
（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（収益認識関係注記） …… 10
（１株当たり情報に関する注記） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）における我が国経済は、中東地域での地政学的リスクの顕在化により、製造コストの高騰や物流停滞に対する懸念が大きくなっております。一方で大手を中心とした企業の業績は一部で堅調に推移し、設備投資や雇用環境は改善を示すなど、企業、業界毎に景況感の濃淡が明確になりつつあります。

当社を取り巻く試作・開発市場は、引き続きＥＶ（電気自動車）開発と内燃機関への回帰が併行し、自動車メーカーにおける開発プロジェクトや要求性能の多様化がより一層顕著になっております。ＦＡ（ファクトリーオートメーション（注））分野は、国内外の製造現場でのニーズ獲得による製品受注額の増加が見込まれる一方、新たな分野、領域への研究開発も進み、当社製品のニーズの拡大が期待されております。

このような環境の中、当社では鋳造事業での生産現場を中心に、製販が一体となって生産コスト削減に向けた取り組みを行い、投下コストや設備投資の厳選も継続することで、効率的かつコンパクトな事業運営を推進しました。また、営業面では戦略的な顧客交渉を継続し、売上規模拡大よりも利益確保を念頭に置いた活動を徹底してまいりました。

この結果、当第３四半期累計期間の経営成績は、売上高1,889,608千円（前年同期比21.1％減）、営業利益17,215千円（前年同期比94.6％増）、経常利益7,400千円（前年同期比181.3％増）、四半期純損失20,615千円（前年同期は四半期純損失4,507千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

①３Ｄプリンター事業

３Ｄプリンター事業におきましては、当社プロダクトである心臓カテーテルシミュレーター「ＨＥＡＲＴＲＯＩＤ」において、一部の顧客側での仕様決定の遅れに伴い、納品時期が第４四半期へずれこんだ案件があったものの、国内外医療機関やデバイスメーカー向けのニーズ獲得により前年同四半期を上回って推移しました。

一方、出力サービス分野では、工業用部品の試作、モックアップ品ニーズの訴求提案など、多様な案件の獲得を戦略的に実施しましたが、売上で前年同四半期を下回ったことに加え、高難度の案件の受注も相まって、利益面でも前年同四半期の実績を下回りました。

この結果、３Ｄプリンター事業の売上高は471,361千円（前年同期比6.8％減）、セグメント利益は127,549千円（前年同期比3.1％減）となりました。

②鋳造事業

鋳造事業におきましては、引き続き国内外の自動車メーカー各社及びＴｉｅｒ１（ティアワン）部品メーカーからの開発案件や、ＦＡ分野での産業用ロボット向け大型鋳造品の試作ならびに補給部品の獲得を進めましたが、受注ボリュームの減少は継続しました。

生産面においては、大型化、薄肉・高強度化へのニーズ対応に伴い、一時的に利益面で苦戦を強いられたものの、品質管理体制の確立や、粘り強い価格交渉を継続し、一部の不採算案件では経営的な判断により受注を辞退するなど、2025年12月期の減損損失計上による固定費の減少も相まって、セグメント業績は大きく回復しました。

この結果、鋳造事業の売上高は1,208,109千円（前年同期比23.6％減）、セグメント利益は105,422千円（前年同期比320.3％増）となりました。

③ＣＴ事業

ＣＴ事業におきましては、産業用ＣＴの活用を企図し、展示会（JASIS：分析機器・科学機器総合展）への初出展や顧客毎の周知・啓蒙アプローチ、セミナーの継続的な実施に加え、トライアルスキャン提案施策の展開、各業界の専門商社との情報交換の実施など、多方面で施策を継続しており、潜在的なニーズの掘り起こしが進んでおります。

その一方、売上ボリュームに直結する大規模なスキャンニーズの獲得が少なく、また、前年同四半期累計期間では実績を残していたＣＴ装置販売が当第３四半期累計期間では売上計上がなかったこともあり、高い利益水準は維持しているものの、売上・利益とも前年同四半期の実績を下回りました。

この結果、ＣＴ事業の売上高は210,137千円（前年同期比31.7％減）、セグメント利益は142,987千円（前年同期比32.1％減）となりました。

（注）ファクトリーオートメーション
工場における生産工程の自動化を図るシステムのことです。当社は筐体の金属部品に、軽量かつ高強度のマグネシウム鋳造品やアルミニウム鋳造品を提案しております。

なお、当第３四半期累計期間の販売実績（内部取引を除く）を産業区分別に示すと次のとおりであります。

３Ｄプリンター事業

セグメント内産業区分	第35期　第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日　　至　2026年９月30日）		
	販売件数（件）	販売金額（千円）	比率（％）
卸売業	394	195,587	41.5
精密機械・医療機械器具製造業	238	75,620	16.0
電気機械器具製造業	179	30,687	6.5
その他の製造業	90	29,147	6.2
一般機械器具製造業	88	26,716	5.7
輸送用機械器具製造業	56	26,180	5.6
広告・調査・情報サービス業	5	15,880	3.4
その他の事業サービス業	25	14,099	3.0
専門サービス業（他に分類されないもの）	38	13,855	2.9
その他	240	43,587	9.2
合計	1,353	471,361	100.0

鋳造事業

セグメント内産業区分	第35期　第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日　　至　2026年９月30日）		
	販売件数（件）	販売金額（千円）	比率（％）
一般機械器具製造業	1,266	688,632	57.0
輸送用機械器具製造業	119	235,786	19.5
卸売業	112	131,231	10.9
電気機械器具製造業	70	60,327	5.0
金属製品製造業	17	43,062	3.6
鉄鋼業、非鉄金属製造業	38	28,434	2.3
精密機械・医療機械器具製造業	20	12,496	1.0
代理商、仲立業	3	3,418	0.3
専門サービス業（他に分類されないもの）	1	2,160	0.2
その他	7	2,560	0.2
合計	1,653	1,208,109	100.0

ＣＴ事業

セグメント内産業区分	第35期　第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日　　至　2026年９月30日）		
	販売件数（件）	販売金額（千円）	比率（%）
一般機械器具製造業	59	55,526	26.4
卸売業	102	39,603	18.8
輸送用機械器具製造業	54	31,717	15.1
精密機械・医療機械器具製造業	23	15,110	7.2
電気機械器具製造業	46	12,554	6.0
娯楽業	20	10,150	4.8
専門サービス業（他に分類されないもの）	22	9,374	4.5
鉄鋼業、非鉄金属製造業	16	6,973	3.3
その他の製造業	20	6,640	3.2
その他	51	22,488	10.7
合計	413	210,137	100.0

（注）１．産業区分に関しては、株式会社帝国データバンクのＴＤＢ産業分類表の中分類に従っております。
２．販売件数、販売金額及び比率は、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれておりません。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第３四半期会計期間末における流動資産は1,208,366千円となり、前事業年度末に比べ87,320千円減少いたしました。これは主に前渡金が162,983千円増加したものの、受取手形及び売掛金が204,173千円、電子記録債権が106,632千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,484,308千円となり、前事業年度末に比べ83,028千円減少いたしました。これは主に機械及び装置が43,542千円、建物が32,156千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,692,674千円となり、前事業年度末に比べ170,348千円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期会計期間末における流動負債は824,721千円となり、前事業年度末に比べ36,848千円増加いたしました。これは主に未払金が59,685千円減少したものの、買掛金が67,914千円、短期借入金が50,000千円増加したことによるものであります。

固定負債は236,862千円となり、前事業年度末に比べ190,832千円減少いたしました。これは主に長期借入金が178,010千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,061,584千円となり、前事業年度末に比べ153,983千円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期会計期間末における純資産合計は1,631,090千円となり、前事業年度末に比べ16,364千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失を20,615千円計上したことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期累計期間の業績は、当社の想定をやや下回った推移が継続し、通期見通しに対しては今後の推移を注意深く見極める必要性が生じております。一方で第４四半期会計期間の状況については一部で復調の兆しもあることから、現時点における通期の業績予想につきましては、2026年２月13日公表の「2025年12月期　決算短信」における2026年12月期の業績予想からの変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年12月31日）	当第３四半期会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	425,004	334,618
受取手形及び売掛金	500,244	296,071
電子記録債権	113,315	6,682
商品及び製品	29,700	29,423
仕掛品	79,480	134,301
原材料及び貯蔵品	99,105	152,521
前払費用	47,295	65,992
未収還付法人税等	－	11,324
前渡金	－	162,983
その他	1,944	14,446
貸倒引当金	△404	－
流動資産合計	1,295,686	1,208,366
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	930,544	898,388
機械及び装置（純額）	173,580	130,037
土地	166,746	166,746
リース資産（純額）	51,796	35,844
建設仮勘定	8,022	17,336
その他（純額）	131,643	127,575
有形固定資産合計	1,462,334	1,375,928
無形固定資産	31,589	31,222
投資その他の資産	73,412	77,156
固定資産合計	1,567,336	1,484,308
資産合計	2,863,023	2,692,674

（単位：千円）

	前事業年度 （2025年12月31日）	当第３四半期会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,943	150,858
短期借入金	50,000	100,000
１年内返済予定の長期借入金	326,012	326,012
リース債務	44,198	26,047
未払金	167,332	107,646
未払法人税等	42,972	21,185
契約負債	31,732	60,919
賞与引当金	－	24,620
製品保証引当金	877	1,320
その他	41,804	6,110
流動負債合計	787,872	824,721
固定負債		
長期借入金	286,934	108,924
リース債務	42,043	26,242
資産除去債務	90,498	90,968
繰延税金負債	8,220	7,519
その他	－	3,209
固定負債合計	427,695	236,862
負債合計	1,215,568	1,061,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	817,733	817,733
資本剰余金	804,855	804,733
利益剰余金	46,385	24,936
自己株式	△21,520	△16,313
株主資本合計	1,647,455	1,631,090
純資産合計	1,647,455	1,631,090
負債純資産合計	2,863,023	2,692,674

（２）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,394,648	1,889,608
売上原価	1,683,713	1,222,279
売上総利益	710,935	667,329
販売費及び一般管理費	702,089	650,113
営業利益	8,845	17,215
営業外収益		
受取利息	478	1,050
補助金収入	750	500
受取保険金	－	255
為替差益	－	1,031
受取補償金	205	5,000
その他	1,575	482
営業外収益合計	3,009	8,318
営業外費用		
支払利息	7,151	4,226
上場関連費用	－	13,400
為替差損	1,292	－
コミットメントフィー	53	218
その他	726	289
営業外費用合計	9,224	18,134
経常利益	2,630	7,400
特別利益		
固定資産売却益	1,635	－
特別利益合計	1,635	－
特別損失		
固定資産除却損	3,984	4,193
固定資産売却損	－	815
特別損失合計	3,984	5,008
税引前四半期純利益	280	2,391
法人税、住民税及び事業税	9,588	23,708
法人税等調整額	△4,799	△700
法人税等合計	4,788	23,007
四半期純損失（△）	△4,507	△20,615

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前第３四半期累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	３Ｄプリンター事業	鋳造事業	ＣＴ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	505,552	1,581,204	307,890	2,394,648	－	2,394,648
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	505,552	1,581,204	307,890	2,394,648	－	2,394,648
セグメント利益	131,658	25,084	210,711	367,455	△358,610	8,845

（注）１．セグメント利益の調整額△358,610千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	３Ｄプリンター事業	鋳造事業	ＣＴ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	471,361	1,208,109	210,137	1,889,608	－	1,889,608
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	471,361	1,208,109	210,137	1,889,608	－	1,889,608
セグメント利益	127,549	105,422	142,987	375,959	△358,743	17,215

（注）１．セグメント利益の調整額△358,743千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）
該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（四半期貸借対照表に関する注記）
当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行５行と当座貸越契約（前事業年度は取引銀行４行と当座貸越契約及び取引銀行１行とコミットメントライン契約）を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前事業年度 （2025年12月31日）	当第３四半期会計期間 （2026年９月30日）
当座貸越極度額及び貸出コミットメントラインの総額	950,000千円	950,000千円
借入実行残高	50,000	100,000
差引額	900,000	850,000

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）
当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	284,456千円	159,228千円

（収益認識関係注記）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第３四半期累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

（単位：千円）

	報告セグメント			
	３Ｄプリンター事業	鋳造事業	ＣＴ事業	計
製品及び商品	501,216	1,581,204	29,408	2,111,829
その他・サービス	4,336	－	278,482	282,818
顧客との契約から生じる収益	505,552	1,581,204	307,890	2,394,648
その他の収益	－	－	－	－
外部顧客への売上高	505,552	1,581,204	307,890	2,394,648

（注）その他・サービスには、ＣＴスキャン、装置等の保守及び修理、デジタルコンテンツ売上が含まれております。

当第３四半期累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

（単位：千円）

	報告セグメント			
	３Ｄプリンター事業	鋳造事業	ＣＴ事業	計
製品及び商品	470,339	1,208,109	90	1,678,539
その他・サービス	1,022	－	210,047	211,069
顧客との契約から生じる収益	471,361	1,208,109	210,137	1,889,608
その他の収益	－	－	－	－
外部顧客への売上高	471,361	1,208,109	210,137	1,889,608

（注）その他・サービスには、ＣＴスキャン、装置等の保守及び修理といった検査・測定サービスが含まれております。

（１株当たり情報に関する注記）

１株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第３四半期累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり四半期純損失（△）	△0円81銭	△3円71銭
（算定上の基礎）		
四半期純損失（△）（千円）	△4,507	△20,615
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る四半期純損失（△）（千円）	△4,507	△20,615
普通株式の期中平均株式数（株）	5,546,256	5,559,841

（注）前第３四半期累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。当第３四半期累計期間の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、１株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。